

# 富山高等専門学校技術振興会寄付金

令和5年度 (R5. 10. 1~R6. 9. 30) 事業報告

## 1. 研究に関する事業 (予算額: 2,550,000 円、執行額: 787,682 円)

### 1) 共同研究助成 (R5 予算額: 1,500,000 円、執行額: 787,682 円)

富山高専教員と会員企業との共同研究等を実施した。会員企業と共同研究を実施した。研究に対する助成については、対象となった13件(共同研究全体77件)に助成を実施した。

### 2) 技術相談 (R5 予算額: 50,000 円、執行額: 0 円)

富山高専教員及びコーディネーターが、会員企業の技術ニーズを掘り起こし、富山高専の技術シーズを紹介した。

### 3) 教員海外短期派遣支援 (R5 予算額: 500,000 円、執行額: 0 円)

海外短期派遣の補助は行わなかった。

### 4) 共通機器管理支援 (R5 予算額: 500,000 円、執行額: 0 円)

共通機器管理の支援は行わなかった。

## 2. 教育に関する事業 (予算額: 2,600,000 円、執行額: 1,828,660 円)

### 1) キャリア教育・就職支援 (R5 予算額: 2,500,000 円、執行額: 1,828,360 円)

①会員企業への富山高専学生及び教職員の見学等の実施を支援する。

#### ・県内工場見学・企業見学

令和5年10月27日(金)

YKK株式会社(国際ビジネス学科3年生が参加)

バルチラジャパン株式会社、クリーンエネルギー北陸(商船学科3年生が参加)

令和6年9月26日(木)

BBS ジャパン株式会社、タワーパートナーズセミコンダクター株式会社(機械システム工学科3年生が参加)

北陸電力株式会社(電気制御システム工学科3年生が参加)

令和6年9月27日(金)

協和ファーマケミカル株式会社、シミックCMO株式会社(物質化学工学科3年生が参加)

北陸電機製造株式会社、株式会社スギノマシン(電気制御システム工学科2年生が参加)

会員企業の工場見学を実施し、学生の進路意識や学習意欲の向上を図った。

#### ・専攻科授業科目「地域産業学」における工場見学

令和5年11月27日(月)

北陸電気工業株式会社(エコデザイン工学専攻1年)

アイシン軽金属株式会社(電子制御システム工学専攻、国際ビジネス学専攻、海事システム工学専攻の1年)

会員企業の工場見学を実施し、学生の進路意識や学習意欲の向上を図った。

②富山高専学生、保護者及び教職員に対して、会員企業の概要等を学習する機会である企業研究会・産学連携教育(Ti-TEAM)の実施を支援する。

#### ・技術振興会会員企業による企業説明会(企業研究会)の支援

令和5年11月1日(水)(参加企業:97社 参加学生:250名)

学生のキャリア教育の一環として、会員企業と懇談できる場を設けることにより、実社会にはどのような企業があり、企業はどのような人材を求めているかを学生自らが研究する機会を提供する目的で実施した。

・産学連携教育 (Ti-TEAM) の支援

令和5年11月7日、8日、9日、16日 (参加企業: 36社、対象学生: 1年生)

全学科1年生を対象に、協力いただいた技術振興会企業の事業・業務内容を学ぶ産学連携教育プロジェクトを実施した。

※産学連携教育 (Ti-TEAM) とは、全学科1学年を対象とした会員企業の事業・業務内容を学ぶ産学連携教育プロジェクトであり、異なる学科で構成された学生チームが、担当する会員企業の特徴やデータの活用について事前調査し、取材、レポート作成を経て、多角的な視点から理解を深めることを目標とした事業である。

③海外インターンシップ (会員企業の海外事業所) 引率への助成を実施する。

海外インターンシップの実施を行わなかった。

④学生のキャリアアップのための支援を実施する。

○進路ガイダンス

実施日: 令和6年1月26日 (金) (講師: 卒業生6名、対象学生: 53名)

学生の進学・職業選択の自己理解と進路形成への認識を深めるため、国際ビジネス学科の卒業生による進路ガイダンスを実施した。

2) シニアフェローによる教育・研究支援 (R5 予算額: 50,000 円、執行額: 0 円)

以下のとおり、教育に対する助言等の支援を行った。

○令和6年度 専攻科・エコデザイン工学専攻「特別演習」成果発表会

実施日: 令和6年7月17日 (水) 10:10~12:10

開催場所: 本郷キャンパス専攻科棟2階 特別演習・実験室等

参加いただいたシニアフェロー (順不同)

- ・湯畑 功二 (国立大学法人富山大学)
- ・土田 満 (株式会社笑農和 経営企画室 室長 知的戦略マネージャー)
- ・藤田 正良 (元国立高等専門学校機構)
- ・長浜 啓一 (株式会社 KANAYA 相談役)
- ・熊西 勝己 (株式会社宮本工業所 執行役員技術部長)
- ・中沖 陽介 (朝日印刷株式会社 技術部 技術課 担当課長)
- ・深山 信一 (株式会社北日本新聞社 創造の森 越中座)
- ・米澤 久恵 (コーセル株式会社 R&D センターCS 開発部 CS 課)

○「技術と環境」

内容: 専攻科生向けに開講している授業科目において以下の講義を行った。

- ・令和6年6月11日 (火) 岡 譲二 (株式会社エネドリーム 代表取締役)
- ・令和6年6月18日 (火) 高木 悦朗 (T S K株式会社 代表取締役会長)
- ・令和6年6月25日 (火) 東出 悦子 (株式会社アイペック 代表取締役)
- 細野 恭成 (株式会社アイペック 調査診断部 部長)
- ・令和6年7月2日 (火) 堀 栄男 (三谷産業イー・シー株式会社)
- ・令和6年7月9日 (火) 篠原おりえ (立山科学グループ 総務部 執行役員)
- ・令和6年7月16日 (火) 新原 健一  
(株式会社立山環境整備 イノベーション推進室 研究員 博士 (工学))

3) 企業人材育成に関する支援 (R5 予算額: 50,000 円、執行額: 300 円)

次世代スーパーエンジニア養成コース講師派遣を行った。

### 3. 広報に関する事業（予算額：550,000円、執行額：212,273円）

#### 1) 情報の発信（R5 予算額：450,000円、執行額：212,273円）

①会員企業に対して、ホームページの更新など情報発信を強化する。

内容：富山高等専門学校技術振興会ホームページを更新し、イベントなどの実施状況について情報発信を行った。

※富山高等専門学校技術振興会の URL：<https://www.nc-toyama.ac.jp/tech/>

②情報発信の一環として、会員企業及び富山高専教職員を対象とした講演会に係る費用。

情報発信の一環として、R5 総会において3名の本校教員が講演した。

開催日：令和5年11月1日 開催場所：ホテルグランテラス富山

##### 【講演内容】

『CAC703の機械的特性におよぼす添加元素Aの影響と鉛フリー黄銅代用材としての検討』

機械システム工学科 准教授 増山 圭一

『海水中の海生生物の付着状況確認と付着抑制技術の確立』

練習船若潮丸船長 特任教授 金山 恵美

『特別じゃない私たちが地域・社会を変えるためのスタートアップ：富山高専のスタートアップ人材育成事業』

物質化学工学科 教授 袋布 昌幹

③両キャンパスの名板を更新する。

内容：富山高等専門学校の両キャンパスに設置してある技術振興会会員の名板プレートの更新を行った。

#### 2) 研究会等支援（R5 予算額：100,000円、執行額：0円）

①会員企業及び富山高専教職員を対象とした研究会（コラボフォーラム等）の実施を支援する。

○とやま KOSEN コラボフォーラムの開催

開催日時：令和6年3月4日（月）13:30～17:00

参加者：60名（技術振興会会員、教職員、学生）

##### 【講演内容】

富山高専の研究紹介プレゼンテーション

『スマートポリマーでマイクロプラスチックを簡単に集めて分析する技術』

物質化学工学科 准教授 間中 淳

『LCD表示機への投光方式による人の認知能力の変化に関する検討』

一般教養科 准教授 紙谷 智

技術振興会会員企業によるプレゼンテーション

『Secure the Success ～自動化で、誰もが安全を享受できる社会へ～』

株式会社網屋 執行役員管理本部副本部長 東川 淳紀 様

『画期的なプラスチック製品の開発と人材育成』

シロウマサイエンス株式会社

総務部部长 兼 人材開発室長/本校シニアフェロー 木村 篤 様

『3次元測定の今までとこれから』

松嶋建設株式会社 専務取締役 松嶋 幸治 様

富山高専スタートアップ事業

『富山高専の学生によるスタートアップへのチャレンジ：2023年度の成果』

物質化学工学科 教授 袋布 昌幹

#### 4. その他の支援事業（予算額：9,795,201円、執行額：5,575,840円）

##### 1) 新規事業（R5 予算額：1,000,000円、執行額：0円）

新規事業への補助は行わなかった。

##### 2) コーディネーター支援（R5 予算額：7,200,000円、執行額：5,166,628円）

コーディネーターの活動に対する支援を行い、コーディネーター3名体制による産学連携活動の強化を図った。

##### 3) 技術振興会事務局等 運営費（R5 予算額：1,595,201円、執行額：409,212円）

①地域連携推進に係る環境整備を行い、産学連携・地域連携活動を支援できる体制を整える。

②事務局運営費

R5 年度予算額合計：15,495,201円、合計執行額 8,404,455円、繰越額 7,090,746円